（別紙4（2））

事業所名　すがの親愛ホーム

作成日：令和　2年　1月　6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みと離職率上昇。	職員の離職から、残る一部職員の負担が増加している。先ずは、働きやすい環境作りを行い離職率の低下と全体の介護技術向上を目指して行く。	オリエンテーション・個人面談を行い、職員のストレスマネージメントを実施する。また、勤務シフト作成時は職員のパワーバランスを考慮し全体に負担がないようにする。一方で、小規模・GHの両方が勤務できるように職員を教育していく。	4ヶ月
2	35	【前回目標継続】 災害対策として、利用者様を含めた 避難訓練を行っていない。 緊急時連絡網は整備されているものの、 防災用品や飲食料品の備蓄がない。 ※水害対策も実施していない	職員全体が災害意識を持ち、 非常時には円滑な行動を出来るようにする。 また、災害時には利用者様だけではなく、 地域住民の方々にも避難所として利用していただく。	次回、消防訓練時には、利用者様の 安全を確保しつつ全員が対象として行う。 また、台風被害も想定に入れる。 飲食料品の備蓄は、本社に提案して実施する。	6ヶ月
3	49	日常的な外出支援の頻度が低下している。	施設内でのイベントは実施しているものの、散歩以外の車輌を使用した遠足等、近中距離の外出レクリエーションを定期的に行う。	余裕のある介護職員配置とするために、採用活動を積極的に行い良い人材を採用していく。 また、同系列施設との共同遠足・イベントなど新しい試みを行っていく。	6ヶ月
4					
5					

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。